

- 土木工事において活用されている省力化施工技術を、建築工事における根切り・土工事に活用するもの。
- 官庁営繕では、平成30年度より、**発注者指定でICT建築土工を試行的導入**。  
令和元年度も引き続き、**試行を継続し、省人化効果の検証等**を行うこととしている。

## 発注者指定でICT建築土工の試行

実施内容：発注者指定でICT建築土工の試行を実施、省人化効果等を検証。  
 対象工事：官庁営繕費で行う新営工事であって技術提案評価型S型※で行うもの。  
 ※技術提案評価型S型  
 発注者が標準案に基づき算定した工事価格を予定価格とし、その範囲内で提案される施工上の工夫等技術提案と価格との総合評価を行う方式

### 試行

ICT建設機械※2による施工  
 ※ICT建設機械  
 3次元マシンコントロール技術（MC）  
 又は3次元マシンガイド技術（MG）  
 を用いたバックホウ



### 試行対象工事



栃木地方合同庁舎

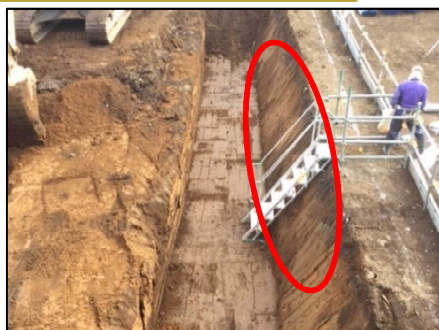


海上保安大学校国際交流センター



高山地方合同庁舎

### ICT建築土工の活用例



オープンカット法面整形(60° 3D) つぼ堀 床付け(3D : 2D + 深さ)

### ICT建築土工 試行の特徴（一般的な建築土工との違い）

- データの入力：傾斜のある形状では3Dを活用。床付けのみの箇所では2D-CAD情報を活用することによりデータ入力を簡略化。
- 3DMC・3DMG：掘削時の縄張り・遣方（丁張り）が省略でき、施工性が向上。
- 3D床付け管理：建築床付け管理に必要な精度が3Dで確保できるかについて検証するため、一般的な測量機器を併用して管理。
- 電子納品：施工用に作成したデータをオリジナル形式とpdf形式で納品。



ICT建築土工の試行結果により省人化効果を検証